

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス第3いちご園			
○保護者評価実施期間	7年 2月 25日		～	7年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	7年 2月 25日		～	7年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が常駐している事により体調の観察、又環境設定など身体状況に配慮した支援とケアを提供できる。	体調の安定を維持できるよう、普段と違う状態や体調不良時の対応、又医療面でのアドバイスや早めの受診の促しなどにより悪化を防ぎ安定して通所を継続できるようご家族との連携を大切にしている。	それぞれの現状を共有する機会を増やし関連機関との連携を密に図りながら、利用児とご家族が健康的に安定した生活が送れるよう取り組んでいく。
2	季節行事等でいろいろな場所でいろいろな人と触れ合う機会を提供している。	系列事業所との交流する事で、お互いの存在を意識し理解しあえる機会をつくっている。又スタッフと関わる事で第3いちご園利用児への必要な支援やケアを知ってもらう機会としている。	災害時や緊急時、系列事業所でも第3いちご園の利用児の受け入れや対応ができるよう情報を共有しておく。
3	親子交流行事を実施し、親子でゆっくり関わる機会を提供している。ご家族と一緒にそれぞれの成長を感じてもらえるようご家族とのコミュニケーションを大切にしている。	連絡帳や送迎時の申し送りの際、利用時の様子や様々な反応、エピソードなどを伝えながら子供たちの成長を共有できるよう心がけている。	活動な内容や、子供たちの姿からご家族の希望する支援やケアについて率直に伝えあえる関係を構築し、支援に生かしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1		障がい特性や身体状況等で交流するタイミングが合わなかったり、又受け入れ側の体制が取れないなどの課題がある。	
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない	障がい特性や身体状況等で交流するタイミングが合わなかったり、又受け入れ側の体制が取れないなどの課題がある。	行政、自立支援協議会との連携を図り、状況等相互に理解し検討できる体制を確立できるよう努める。
3	各種マニュアルについて周知ができていない。	各マニュアルについては整備しているが、保護者様への説明等が不十分だった。	HPやSNS等を活用してマニュアルを周知する。又訓練、研修等を実施した際には、内容等を共有できるよう発信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		第Ⅲいちご園		公表日				R7年 3月 31日			
				利用児童数				R7年 3月 31日 回収数 4			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4								
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	1							
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		1	1	・健常の子達と触れ合える機会が少しでもあると嬉しい。経験させてみたい。				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4			1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				無回答 1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1		1	・他の保護者の方々とお話できる機会があると嬉しい。	保護者会や茶話会などを実施し交流する機会を設定します。			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4								
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4								
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4								
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4									

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	第Ⅲいちご園		公表日		R7年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・平日、長期休業日等での児発と放デイの動ける児童が一緒の時間帯、パーティションを作り、利用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・送迎が重なる時間帯、いちご園、第2いちご園に送迎をお願いしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1 無回答 1		・トイレ前のマットがずれやすく、児童がつまづかないように工夫が必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			・清潔を心掛けているが、食事の準備や午睡スペースを利用児に合わせて確保を目指したい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		・必要に応じて、書面などで周知、共有をして職員間で差が生じないように配慮したい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1 無回答 1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1 無回答 1		・情報を共有した上でも、支援に認識の違いが出るため、定期的にチェックできればと思う。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	無回答 1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1 無回答 3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		・利用児の体調や、感染のリスクを考慮した上で、ツールなども使用しつつ交流するのも良いと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1 無回答 1			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		・親子行事を行っている。(いちご狩り、夏祭り、リンゴ狩り、クリスマス会、法人秋祭り等)
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	無回答 1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1 無回答 1	・秋祭りの開催	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		・各マニュアルの周知を進めたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		・災害以外についての訓練や応急処置の仕方も学べる機会があると良いと思う。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
非常時等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1		

公表

事業所における自己評価総括表

放課後等ディサービス

○事業所名	放課後等ディサービス第3いちご園			
○保護者評価実施期間	7年 2月 25日		～	7年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	7年 2月 25日		～	7年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が常駐している事により体調の観察、又環境設定など身体状況に配慮した支援とケアを提供できる。	体調の安定を維持できるよう、普段と違う状態や体調不良時の対応、又医療面でのアドバイスや早めの受診の促しなどにより悪化を防ぎ安定して通所を継続できるようご家族との連携を大切にしている。	それぞれの現状を共有する機会を増やし関連機関との連携を密に図りながら、利用児とご家族が健康的に安定した生活が送れるよう取り組んでいく。
2	季節行事等でいろいろな場所でいろいろな人と触れ合う機会を提供している。	系列事業所との交流する事で、お互いの存在を意識し理解しあえる機会をつくっている。又スタッフと関わる事で第3いちご園利用児への必要な支援やケアを知ってもらう機会としている。	災害時や緊急時、系列事業所でも第3いちご園の利用児の受け入れや対応ができるよう情報を共有しておく。
3	親子交流行事を実施し、親子でゆっくり関わる機会を提供している。ご家族と一緒にそれぞれの成長を感じてもらえるようご家族とのコミュニケーションを大切にしている。	連絡帳や送迎時の申し送りの際、利用時の様子や様々な反応、エピソードなどを伝えながら子供たちの成長を共有できるよう心がけている。	活動な内容や、子供たちの姿からご家族の希望する支援やケアについて率直に伝えあえる関係を構築し、支援に生かしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境、体制整備	子どもたちの体の成長、又個々に必要な姿勢保持装具の使用によって活動スペースの狭さを感じる。又、職員の配置については基準の人員は配置しているが、1人介助では不安を感じる事もある。全体に目が行き届かない点も否めない。	活動室の物品等の配置や装具の保管場所などを考えながらできるだけスペースを広く取れるよう考えたい。又活動や学齢によって併設するセカンドハウスや静養室の活用も改めて考えていく。人管理体制については、不安が解消されるよう整えていく。システム導入により業務の効率化を図る。
2	学童、地域の子どもたちとの交流がない	障がい特性や身体状況等で交流するタイミングが合わなかったり、又受け入れ側の体制が取れないなどの課題がある。	行政、自立支援協議会との連携を図り、状況等相互に理解し検討できる体制を確立できるよう努める。
3	各種マニュアルについて周知ができていない。	各マニュアルについては整備しているが、保護者様への説明等が不十分だった。	HPやSNS等を活用してマニュアルを周知する。又訓練、研修等を実施した際には、内容等を共有できるよう発信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		第Ⅲいちご園					公表日 R7年 3月 31日	
		利用児童数 R7年 3月 31日					回収数 11	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	3		1	・身体を動かして遊ぶ時は、もう少し広いと思う。	事業所内の物品の配置等工夫したり、活動の内容を年齢等でずらし安全に体を動かせるスペースの確保に努めます。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		1	・事業所の事情で大変そうに感じる時もあるが、頑張ってくれていると思う。	基準の人員配置は満たしていますが、1名介助での不安も否めないで人員の補充を考えています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1			
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2			・預かっている児童の障がい範囲が広いので、全てをカバーするのが難しいのでは?と感じる。	障害種別の枠を超えて、種別毎の研修、支援検討会、専門的知識、介助技術の向上を図ります。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1		1		内容を職員全体で精査し活動内容を計画するよう努めます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2		1		それぞれの身体状況等に合わせ日々の活動を決定しています。無理のない範囲で楽しめる活動を工夫していきます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	1	2	・事業所のグループ内で交流する機会があるので、ここから頑張ってください。	長期休暇での系列事業所との交流は再開しておりますが、	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		1	・ペアトレに合う児童は少ないと思われるので、特に必要ないかと思う。必要な場合は外部へつなげて欲しい。		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11				・いつも声を掛けていただけて嬉しい。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1			・そこまで行方余裕がないのではないかと感じる。	支援を心がけておりますが、ご意見等があれば遠慮なくお話頂けると助かります。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	1	1		親子行事等で兄弟児の参加も頂いておりました。ただ、交流までは至っていない事、又保護者の交流会もあわせて次年度は実施したいと思っております。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1			・この評価表についてグループフォームなどに変えるのもいいかと思う。(もっと率直な意見が聞けるかと思う。) ・カラーで写真など見やすい。	ご意見を参考に今後検討したいと思っております。	
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11							

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3			定期的な避難訓練は6月、10月に実施しております。皆様に周知し安心して頂けるよう努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			2	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	1			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	1		・特性上的こともあるので、気にしないで欲しい。 ・朝は渋る事もあるが、帰る時は笑顔で帰って来るので安心している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				・いつも本人や家族に寄り添っていただき、ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	第Ⅲいちご園		公表日	R7年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3 無回答1	・平日、長期休業日等での児発と放デイ動ける児童が一緒の時間帯にパーティションを利用している。	・必要に応じて、使用できるパーソナルスペースを確保したい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・送迎が重なる時間帯にいちご園、第2いちご園に送迎をお願いしている。	・ツールを上手く使用し、可視化することも必要な部分がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1 無回答1		・トイレ前のマットはバリアフリー化はされていないように思える。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		パーティション等を使用する等、限られた中で工夫し取り組んでいきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		全職員で周知できるよう、対策を講ずる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1 無回答1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		・定期的にチェックをして、情報共有し、更新をしていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		勤務時間帯により共有できないじょうほうについては、記録として残し全職員で共有できるようにする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		・職員間での認識の違いないように、計画を理解して支援したい。

関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	2		・活動がワンパターン化しないよう、日々勉強したい。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		関連機関との連携を強化する。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			・送迎時、担任と情報共有している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		・事業所間で様々な状況での対応の仕方を想定しつつ、共有する必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	無回答3		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	無回答1			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1 無回答1		・親子行事の開催（いちご狩り、夏祭り、リンゴ狩り、クリスマス会、法人秋祭り）
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	無回答1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		・各マニュアルを読み合わせ、あらゆる場面を想定し、備える必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		・災害以外の訓練や応急処置の仕方を学びたい。

対応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		